

第47期

ビジネスレポート

2023年1月1日 ▶ 2023年12月31日



ミズホメディーは

“もっと人のために” をテーマに

皆様から信頼される製品を開発・提供してまいります。

トップ・インタビュー

この度の令和6年能登半島地震により
失われた尊い生命に
ご冥福をお祈りするとともに
被災されました皆様方に
心よりお見舞い申し上げます。
一刻も早い被災地の復興を
心よりお祈り申し上げます。



代表取締役会長兼社長 唐川 文成

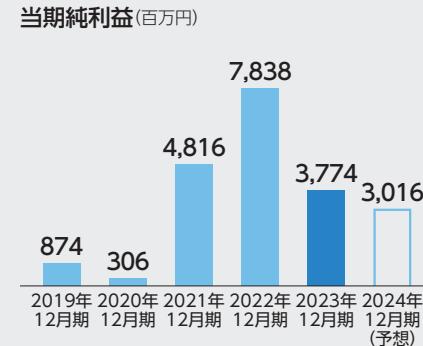
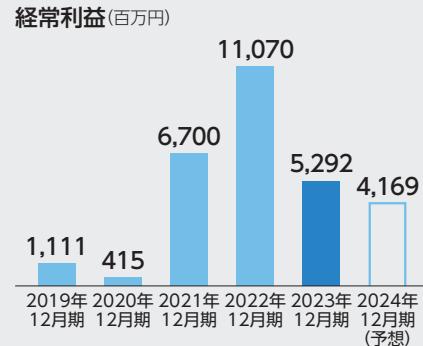
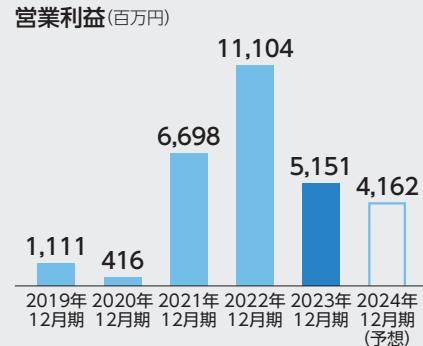
2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行され、徐々にコロナ前の日常に戻りつつある中、ここ3年間、流行のなかったインフルエンザ等の感染症が急激な増加傾向を示しました。また、2023/2024の冬シーズンでは、国内においても新型コロナウイルスの新たな変異株により感染が再拡大する状況となり、2024年も引き続き感染拡大の動向に注視する必要があります。ここでは、ここに2023年12月期における事業概況等についてご報告いたします。

CORPORATE PHILOSOPHY



わたしたちは、
臨床検査薬を通じ、
確かな技術力で
社会へ貢献して
まいります

当期決算ハイライト



Q 当期(2023年12月期)の経営環境や決算のポイントなどについてお聞かせください。

A 新型コロナウイルス遺伝子検査キットの出荷数減、これに伴う売上構成比の変化による売上原価率の上昇等により、減収減益となりました。

新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響により、遺伝子検査キットの出荷数は減少したものの、社会経済活動の正常化がさらに加速したことに伴い、過去3年程の間に免疫獲得の機会を十分に持てなかった様々な既存の感染症が同時多発的に流行しました。

このような状況の中、当社は新型コロナウイルス検査薬をはじめ、3年ぶりに流行拡大したインフルエンザ検査薬や様々なその他感染症項目の検査薬の増産に取り組み、安定供給に尽力いたしました。これらの結果、売上高は109億89百万円(前期比37.5%減)、営業利益は51億51百万円(同53.6%減)、経常利益は52億92百万円(同52.2%減)、当期純利益は37億74百万円(同51.8%減)となりました。また、今後の持続的な事業成長を加速させるため、クイック チェイサーImmuno ReaderII等を用いる高感度検出キットとして、新型コロナウイルス抗原とイン

▶ 今後の主な成長戦略

病院・開業医分野	<p>遺伝子POCT検査機器・試薬システムの効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 感染症の早期確定診断と早期治療 ● 薬剤耐性菌の早期識別 <p>新規診断技術の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 遺伝子POCT検査による確定診断機器・試薬システムの市場展開(呼吸器感染症項目 消化器感染症項目 泌尿器感染症・婦人科感染症項目 薬剤耐性菌項目) ● 遺伝子POCT検査をさらに迅速化 ● 遺伝子マルチ検査システムの開発(複数検体・複数項目同時測定) <p>新たなマーケット展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 感染初期の確定診断需要を拡大 ● 新たな遺伝子診断市場への展開
OTC・その他分野	<p>環境・食品検査分野への応用開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 遺伝子POCT技術を応用した環境・食品微生物検査への展開
その他経営全般	<p>自社開発・製造販売一貫体制の強みを徹底追求</p> <p>生産体制の整備・強化(共通原料・資材の利用促進)</p> <p>業務のDX(デジタル)化</p> <p>女性従業員の活躍促進</p>

フルエンザウイルス抗原を同時に検出する「クイック チェイサーAuto SARS-CoV-2/Flu」を発売するなど、クイック チェイサーAuto シリーズの検査項目の拡充を図りました。その他、遺伝子POCT検査機器試薬システムに関し、スマートジーンシリーズの新たな検査項目の開発に注力するとともに、次世代の遺伝子POCT検査装置として、測定時間のさらなる迅速化や遺伝子マルチ検査システムの開発にも取り組んでまいりました。

Q 来期(2024年12月期)の見通しについて教えてください。

A 「無症状者の陰性を確認するための高精度な検査」として、当社の遺伝子検査システム(PCR法)に対する安定的な需要継続が見込まれます。

新型コロナウイルス検査薬は、診療報酬改定や医療検査体制の見直しによる影響が予想されますが、遺伝子検査キット「スマートジーンSARS-CoV-2」は、医療機関等にお

ける入院前・手術前検査や救急外来検査などの院内感染防止のための検査、いわゆる「無症状者の陰性を確認するための高精度な検査」として、感染拡大の動向に左右されない一定の安定的な需要が継続することを見込んでおり、来期(2024年12月期)の売上高は約26億円(約69万テスト、当期実績66万テスト)を予想しております。また、新型コロナウイルスの各種抗原キットは、5類への移行に伴い、「発症患者の陽性を確認するための迅速簡易検査」として、遺伝子検査から抗原検査へのシフトが進んでいることから、売上高は計約40億円(約518万テスト、当期実績445万テスト)を予想しております。インフルエンザ検査薬は、新型コロナウイルス・インフルエンザウイルス同時検査キットの需要増が見込まれ、インフルエンザ単独検査キットとしての売上高は当期と同程度の約9億円と予想しております。その他の感染症項目の検査薬につきましては、新型コロナウイルスの5類への移行後、それまで抑えられてきた様々な感染症が急増しており、検査需要がさらに回復して

いくものと予想しております。「全自動遺伝子解析装置 Smart Gene」につきましては、当期末時点での累計販売台数が約5,200台となる中、「スマートジーンH.pylori G」用としての新たな需要も増加してきており、予想出荷数は約600台を予想しております。これらのことから、来期(2024年12月期)の業績は、売上高104億30百万円(前期比5.1%減)、営業利益は41億62百万円(同19.2%減)、経常利益41億69百万円(同21.2%減)、当期純利益30億16百万円(同20.1%減)を予想しております。

Q 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関する貴社の対応について、教えてください。

A 2024年12月期より配当性向を50%に引き上げ、財務指標の中でもとりわけROE(株主資本利益率)並びにPBR(株価純資産倍率)を意識した経営の実践に努めます。

当社は、効果的かつ持続可能な事業の成長のためには、債務と資本のミックスを見極め、適切な資本構成を維持することが重要であると認識しております。また、株価を意識した経営の実現のための取り組みとして、2024年12月期より当社の配当性向の維持目標をこれまでの30%から50%に引き上げて、中間配当及び期末配当の年2回とし、株主の皆様に対する利益還元をこれまでより充実させていく方針としております。当社は、財務指標の中でとりわけROE(自己資本利益率)並びにPBR(株価純資産倍率)を意識した経営を実践し、ROE10%以上、PBR1.0倍以上を最低限達成したい指標として重視し、経営基盤の強化と事業収益の拡大に向けて取り組んでまいります。

※ご参考(2023年12月31日現在):ROE(自己資本利益率)25.2%、PBR(株価純資産倍率)1.9倍

配当方針

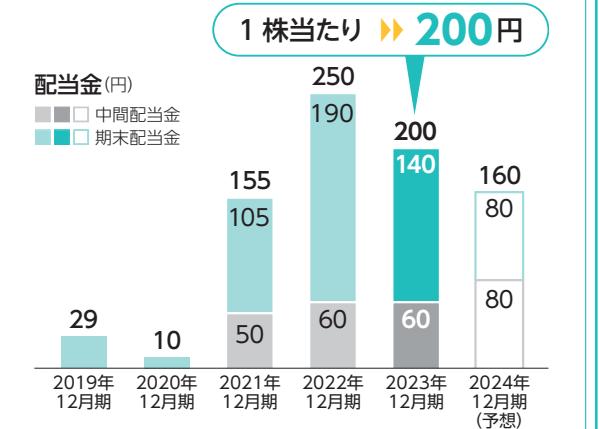
株主の皆様の

日頃のご支援にお応えすべく、
特別配当を実施させていただきました

当社は、業績に対応した配当を行うことを基本としつつ、配当性向、企業体質の一層の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案して決定する方針を採っております。

この方針に基づき、配当性向30%を目標として配当を実施するよう努めてまいりました。

当期の期末配当金は、普通配当80円に特別配当60円を増額して140円とさせていただきます。これにより、当期の年間配当金は、中間配当60円と合わせて200円となり、配当性向は50.5%となります。



製品トピックス

クイック チェイサー® Auto SARS-CoV-2/Flu

本キットは、高感度検出技術である銀増幅イムノクロマト法を測定原理としており、1つのカートリッジにおいて、新型コロナウイルス抗原とインフルエンザウイルス抗原を同時かつ高感度に検出することができます。鼻咽頭ぬぐい液又は鼻腔ぬぐい液を採取し、抽出液中に懸濁した試料をテストプレートに滴下した後、専用機器(クイック チェイサーImmuno Reader、クイック チェイサー Immuno ReaderII)にセットするだけで約15分後に結果が自動でプリントアウトされるため、簡便な操作に加え、迅速かつ客観的な判定結果が得られます。

2023年1月発売





病院・開業医分野

2023年度実績 売上高 **106億36**百万円

国内の医療機関向けに、ウイルスや細菌の感染の有無等を診断する遺伝子解析システム「スマートジーンシリーズ製品」、高感度感染症迅速診断システム「クイック チェイサー Auto シリーズ製品」、自動読取・判定装置を用いる「スマート QC リーダーシリーズ製品」、目視判定による迅速簡易キット「クイック チェイサーシリーズ製品」等を販売しており、中でも、2018年10月に発売した遺伝子解析システムは、今後、検査項目を増やすことにより、大学病院をはじめ、中小病院や開業医・クリニックの医療現場において、さらなる採用施設の拡大が期待できます。

当期の概要

- 病院・開業医分野の売上高は106億36百万円（前期比38.3%減）
- 新型コロナウイルスの5類移行の中、遺伝子検査キットの出荷数が大幅に減少し、新型コロナウイルス検査薬の売上高は76億17百万円（同49.8%減）
- インフルエンザが3年ぶりに流行入りし、異例の夏場の流行以降も流行拡大が継続したことにより、インフルエンザウイルス検査薬の売上高は9億49百万円（同128.2%増）
- 新型コロナウイルス5類移行という社会環境の変化に伴い、多くの感染症が流行したことにより、その他検査薬及び機器の売上高は20億70百万円（同26.2%増）

主な製品のご紹介

遺伝子解析装置 (機器) 全自動遺伝子解析装置 Smart Gene®

PCR法による遺伝子の抽出・増幅・検出の全ての工程を1つのカートリッジ内で行い、短時間で高感度な検査を実現

累計販売台数
約**5,200**台
採用施設
約**3,600**施設



(試薬) スマートジーン® シリーズ

● 呼吸器感染症検査薬

スマートジーン® Myco
スマートジーン® SARS-CoV-2
スマートジーン® Flu A,B



● 消化器感染症検査薬

スマートジーン® CDトキシンB
スマートジーン® H.pylori G



感染症迅速診断システム (機器) クイック チェイサー Immuno Reader II

業界他社に先駆けて
免疫POCT機器
試薬システムの
製品化を実現

累計販売台数
約**5,200**台
採用施設
約**3,000**施設



(試薬) クイック チェイサー® Autoシリーズ

SARS-CoV-2/Flu SARS-CoV-2 Flu A,B RSV/Adeno



Myco Strep A Adeno



デンストメトリー分析装置 (機器) スマート QC リーダー®

検査結果は、
プリントアウトされ
客観的な判定を
実現

累計販売台数
約**2,100**台
採用施設
約**1,600**施設



(試薬) スマート QC リーダー® シリーズ

SARS-CoV-2 SARS-CoV-2/Flu Flu A,B Strep A



Adeno RSV/hMPV 肺炎球菌II 肺炎球菌/レジオネラ



※スマート QC リーダー®シリーズの各検査薬は、目視判定の検査薬としても使用できます。

(試薬) クイック チェイサー® シリーズ (POCT迅速診断キット 目視判定) 採用施設 約**19,000**施設

● 呼吸器感染症検査薬

SARS-CoV-2/FluA,B hMPV



RSV Myco



● 消化器感染症検査薬

Noro Rota/Adeno



CD GDH/TOX H. ピロリ



● 尿糞便検査薬

便潜血



※POCT (Point of Care Testing): 診察、病棟及び外来患者向け診療所など、患者に近い医療現場で検査

売上高構成比
3.2%

OTC・その他分野

OTC

農業

2023年度実績 売上高 **3億52百万円**

OTC分野では、妊娠検査薬[P-チェック・S]を自社ブランド製品として販売し、ドラッグストアのプライベートブランド製品としても「S-チェッカー」「プレセルフ」等の製品名で販売しております。また、妊娠しやすい時期を的確に予測する排卵日検査薬[P-チェック・LH]も主力製品の1つです。その他分野では、農作物の苗木などのウイルス病を見つけるため、免疫血清検査薬の技術を応用した果樹ウイルス検査薬を農業試験場等へ販売しております。

当期の概要

- OTC・その他分野の売上高は3億52百万円（前期比2.0%増）
- 妊娠検査薬及び排卵日検査薬は、新型コロナウイルス感染症の影響から脱しつつある状況を迎える

主な製品のご紹介

P-チェック・S

99%以上の正確さ、1分から判定可能、初めての方でも簡単に検査できる妊娠検査薬



ハイテスター

アリナミン製薬株式会社へ製品供給
排卵日予測検査薬「ハイテスターH」
妊娠検査薬「ハイテスターN」



SDVクロマト

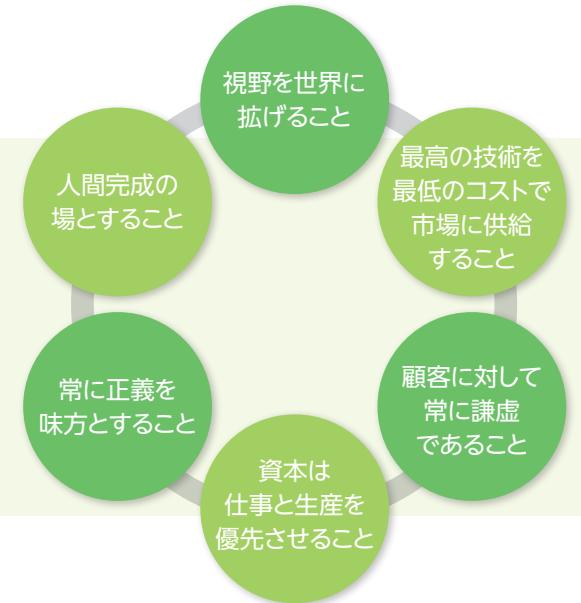
農業分野向け製品
温州萎縮ウイルス検出試薬



「サステナビリティ」への取り組み



当社は、「もっと人のために」の経営理念のもと、6つの「運営基本方針」を定め、ISO13485品質マネジメントシステムを骨格とした、製品の企画開発から製造、販売までの自社一貫体制を構築し、各部門では有能で経験豊富なスタッフが事業活動を行っております。これから先も当社の強みである自社一貫体制を生かし、医療施設や患者のニーズに応える製品を企画・開発し、安定供給することにより事業の持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。



財務指標で見る ミズホメディーの強み

(2023年12月31日現在)

(1) 収益性指標

営業利益率	ROE(自己資本利益率)
46.9%	25.2%

(2) 安定性及び負債指標

流動比率	負債比率
714.6%	20.9%

(3) 市場価値及び成長性指標

配当利回り	EPS(1株当たり当期純利益)
6.37%	396.3円

(4) 資産価値指標

PBR(株価純資産倍率)	BPS(1株当たりの純資産)
1.9倍	1,645.9円

サステナビリティ経営を目指すための 女性従業員の活躍促進

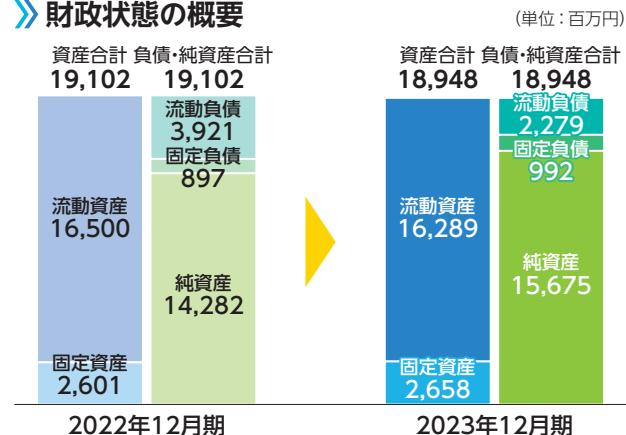
当社は、女性従業員が組織内で平等な機会を享受し、積極的に参加することで、異なる視点やアイデアがもたらされ、イノベーションと創造性が促進されるものと期待しております。また、当社は女性従業員が働く際に、仕事と生活の調和を取りやすい環境を提供することにより、柔軟な働き方や育児短時間勤務などの措置を通じて、女性従業員が組織でキャリアを築きながら、家庭生活も充実できるように支援に努めております。

ご参考 (2023年12月31日現在) 女性従業員102名(アルバイトは除く)

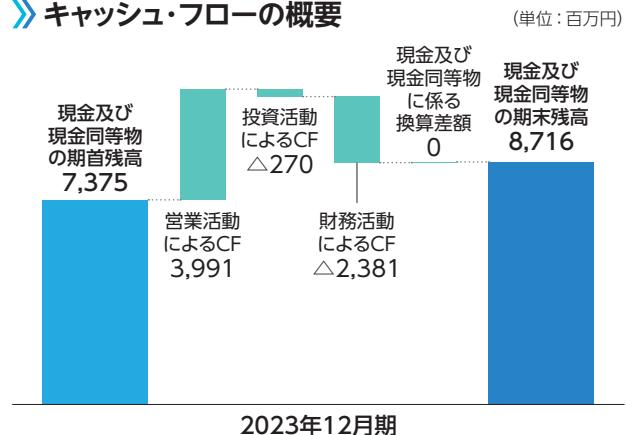
① 女性従業員比率	43.7%	⑦ 女性従業員の有給休暇取得率	92.9%
② 女性従業員正社員比率	44.7%	(男性従業員の有給休暇取得率 75.8%)	
③ 当事業年度採用した労働者に占める女性従業員の割合	34.8%	⑧ 女性従業員の有給取得日数	14.7日
④ 一つ上位の職位への昇進した女性従業員比率	44.0%	(男性従業員の有給取得日数 12.9日)	
⑤ 女性従業員の育児休業取得率	100%	⑨ 管理職に占める女性従業員の割合	9.4%
(男性従業員の育児休業取得率 20.0%)		⑩ 従業員の男女の賃金の差異	
⑥ 育児短時間勤務の女性従業員	8.8%	全従業員	54.4%
		うち正規雇用従業員	84.9%
		うちパート・有期雇用従業員	43.6%

※OTC (Over The Counter): 医師の処方箋がなくても購入できる医薬品で薬局・薬店、ドラッグストアなどでカウンター越しに販売することに由来した名称

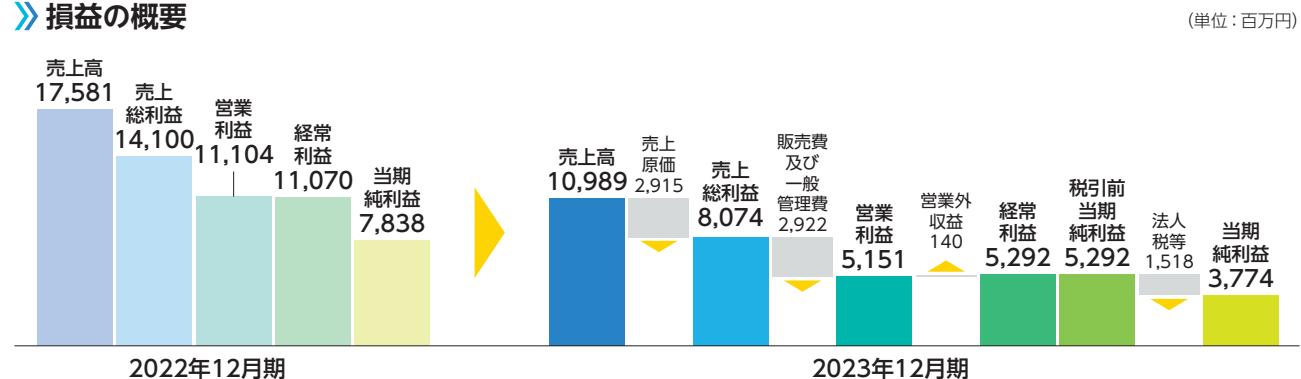
▶▶ 財政状態の概要



▶▶ キャッシュ・フローの概要



▶▶ 損益の概要



財務諸表分析

- 新型コロナウイルス遺伝子検査キットの減収と、これに伴う売上構成比の変化による売上原価率の上昇に加え、研究開発費及び人件費の増加により、減収減益となりました。尚、外国為替相場の急激な変動に伴い、為替差益91百万円を営業外収益に計上しています。
- 未払法人税等の減少12億84百万円や買掛金の減少1億73百万円等に加え、利益剰余金が13億93百万円増加したこと等により、自己資本比率は7.9ポイントアップの82.7%となりました。
- 営業CFは、法人税等の支払等によるCF減少はあったものの、税引前当期純利益52億92百万円などにより、39億91百万円増加しました。投資CFは、主に有形固定資産の取得により、2億70百万円減少しました。

▶▶ 会社概要

本社 佐賀県鳥栖市藤木町5番地の4
 設立 1977年11月2日
 資本金 4億6,454万円
 代表者 代表取締役会長兼社長 唐川文成
 従業員数 180名

▶▶ 役員 (2024年3月28日現在)

代表取締役会長兼社長	唐川 文成	取締役(社外)	佐々木 克
常務取締役	今村 正	取締役(社外)	秋山 伸一
取締役	市丸 和広	常勤監査役	川崎 宏隆
取締役	佐々木 寛	監査役(社外)	重見 亘彦
取締役	檜原 謙次	監査役(社外)	橋本 高吉
取締役	神原 俊夫		

▶▶ ネットワーク



▶▶ 株式の状況

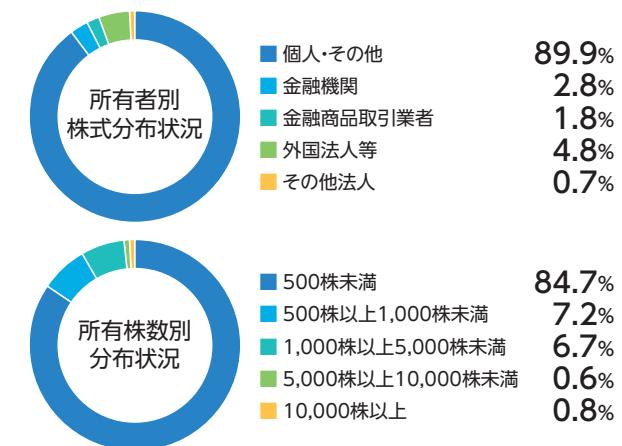
発行可能株式総数 33,840,000株
 発行済株式総数 9,525,600株(自己株式1,203株を含む)
 株主数 10,902名(前期比3,146名増)

▶▶ 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
唐川 文成	3,394	35.64
ミズホメディー社員持株会	249	2.62
株式会社西日本シティ銀行	200	2.09
立石 貞則	190	1.99
山口 和也	106	1.11
村田 淳一	104	1.09
渡邊 亀四郎	101	1.06
唐川 則康	100	1.04
中島 章智	93	0.98
唐川 泰一郎	80	0.83

(注)持株比率は、自己株式(1,203株)を控除して計算しております。

▶▶ 所有者別株式分布状況／所有株数別分布状況



ミズホメディー IR情報

当社WebサイトのIR情報ページでは、決算情報などのIR関連情報をタイムリーに配信しております。また、株主・投資家の皆様専用のお問い合わせフォームもございますので、お気軽にご利用ください。



ミズホメディー IR

検索

https://www.mizuho-m.co.jp/ir/ir_contact

IRメール配信のお知らせ

当社では、株主・投資家の皆様向けにIRメールを配信しています。配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録(無料)いただけます。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=4595>

※IRメール配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しています。



》株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日

期末配当金受領
株主確定日 12月31日

定時株主総会 毎年3月中

株主名簿管理人
特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)
(郵送先)
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
(証券コード:4595)

公告の方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
<https://www.mizuho-m.co.jp/ir/notice.html>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

このビジネスレポートに記載されている業績予想等の将来に関する事項は、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づくものであります。実際の業績等は予期しない経済状況の変化をはじめ、様々な要因により異なる結果となり得ることをご承知おきください。また、医薬品に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではございません。

 株式会社 ミズホメディー

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町5番地の4

TEL : 0942-85-0303

FAX : 0942-85-0312

 UD
FONT

